

# 2025年度決算概要 2026年度業績予想 および「中期経営計画2026」進捗

2026/2/10



住友重機械工業株式会社

## INDEX

01

**2025年度 決算概要**

02

**2026年度 業績予想**

03

**「中期経営計画2026」（中計26）進捗**

04

**Appendix**

01

## 2025年度 決算概要

## 2025年度実績

/前年同期、(増減)

## 前年同期比

1	受注高	:	11,584億円	/	9,361億円	(2,223億円)
2	売上高	:	10,669億円	/	10,711億円	(▲42億円)
3	営業利益	:	515億円	/	551億円	(▲36億円)
4	ROIC	:	4.2%	/	4.8%	(▲0.6pt)

## 市場環境

国内は景気が緩やかに回復、北米も堅調に推移。  
景気の低迷が続いた中国、欧州では持ち直しの動きが見られた。

## 受注高

全般に需要の回復が見られ、全セグメントで増加。

## 売上高

メカトロニクスで増加するも、インダストリアルマシナリーや  
ロジスティックス&コンストラクションで前期の受注が少なかったことから減少。

## 営業利益

インダストリアルマシナリーやロジスティックス&コンストラクションの売上の  
減少などを受けて減少。

## 01

## 2025年度決算概要

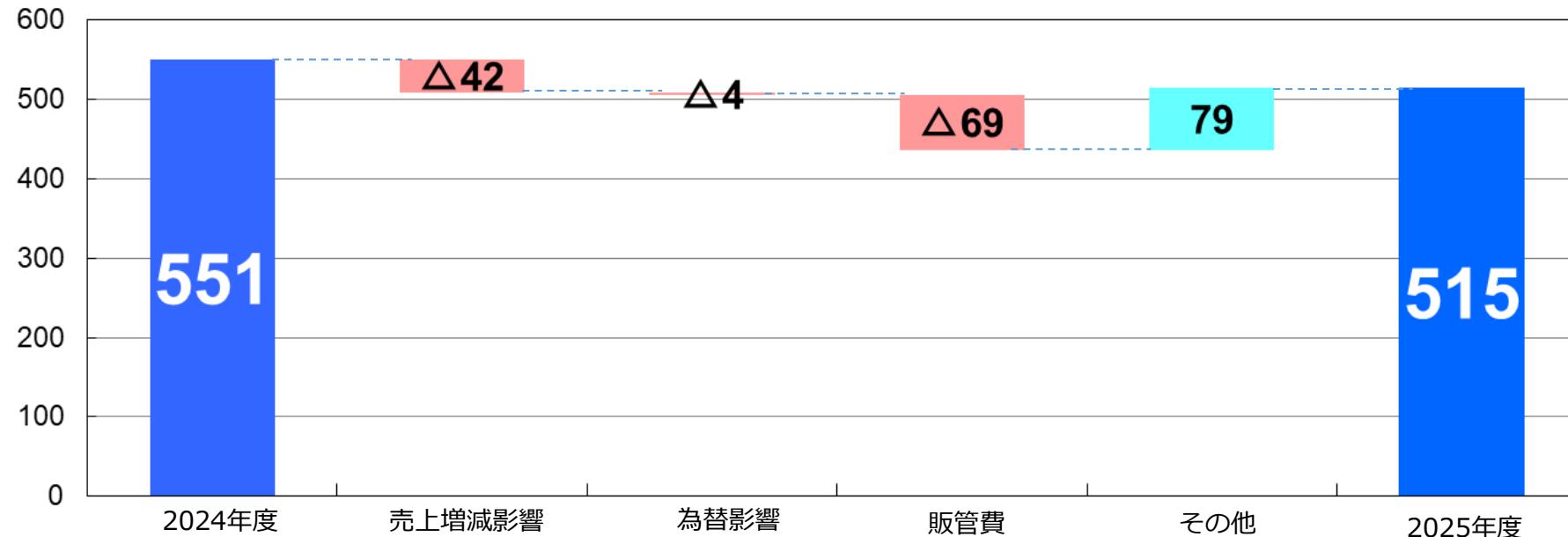
親会社株主純利益は309億円

単位：億円	2024年度 実績(通期)	2025年度					前年同期比 増減(通期)
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
受注高	9,361	2,602	2,753	2,542	3,688	11,584	2,223
売上高	10,711	2,415	2,531	2,586	3,137	10,669	▲42
営業利益	551	112	105	131	167	515	▲36
営業利益率	5.1%	4.6%	4.1%	5.1%	5.3%	4.8%	▲0.3pt
経常利益	492	100	102	113	159	473	▲19
経常利益率	4.6%	4.2%	4.0%	4.4%	5.1%	4.4	▲0.2pt
特別損益	△275	△1	△8	△2	△14	△25	250
親会社株主純利益	77	65	59	75	111	309	232
親会社株主純利益率	0.7%	2.7%	2.3%	2.9%	3.5%	2.9%	2.2pt
為替レート(USD/JPY)	¥152	-	-	-	-	¥150	-

01

## 2024年度/2025年度 営業利益増減分析

単位：億円



売上増減影響 セグメント別内訳	
単位：億円	
● メカトロニクス	42
● インダストリアル マシナリー	△82
● ロジスティックス& コンストラクション	△7
● エネルギー& ライフライン	5
合計	△42

## 01

## 2025年度決算概要 セグメント別

**受注高** : 全般に需要の回復が見られ、全セグメントで増加

**売上高** : メカトロニクスで増加するも、インダストリアル マシナリーやロジスティックス&コンストラクションで前期の受注が少なく減少

**営業利益** : インダストリアル マシナリーやロジスティックス&コンストラクションの売上の減少などを受けて減少

セグメント	受注高			売上高			営業利益				
	2024年度 実績	2025年度 実績	増減	2024年度 実績	2025年度 実績	増減	2024年度 実績 /営業利益率(%)	2025年度 実績 /営業利益率(%)	増減		
メカトロニクス	2,420	2,753	332	2,564	2,712	148	117	4.6	190	7.0	73
インダストリアル マシナリー	2,060	2,251	191	2,340	2,226	▲114	123	5.2	42	1.9	▲81
ロジスティックス&コンストラクション	3,397	3,991	593	3,925	3,889	▲36	253	6.4	140	3.6	▲113
エネルギー&ライフライン	1,418	2,527	1,109	1,820	1,776	▲43	38	2.1	121	6.8	83
その他	65	63	▲2	62	65	3	20	-	21	-	1
合計	9,361	11,584	2,223	10,711	10,669	▲42	551	5.1	515	4.8	▲36

各セグメントに含まれる戦略ビジネスユニットの受注・売上内訳を 4.Appendix に記載

## 01

## 連結貸借対照表

単位：億円	2024/12末	2025/12末	増減	2024/12末	2025/12末	増減	
<b>流動資産</b>	<b>7,845</b>	<b>7,868</b>	<b>23</b>	<b>負債</b>	<b>6,138</b>	<b>6,343</b>	<b>205</b>
現預金	1,111	1,111	0	買掛債務	1,532	1,464	▲67
売上債権	3,074	3,137	62	有利子負債	2,386	2,527	141
棚卸資産	3,339	3,288	▲51	その他	2,220	2,352	131
その他	321	333	12	<b>純資産</b>	<b>6,464</b>	<b>6,862</b>	<b>398</b>
<b>固定資産</b>	<b>4,757</b>	<b>5,337</b>	<b>580</b>	株主資本	4,736	4,884	147
有形固定資産	3,480	3,732	252	その他の包括利益累計額	1,670	1,933	263
無形固定資産	283	331	48	非支配株主持分	57	46	▲12
投資その他の資産	995	1,274	279	<b>負債・純資産合計</b>	<b>12,602</b>	<b>13,205</b>	<b>603</b>
<b>資産合計</b>	<b>12,602</b>	<b>13,205</b>	<b>603</b>	<b>ネット有利子負債比率</b>	<b>10.1%</b>	<b>10.7%</b>	<b>0.6pt</b>
				<b>自己資本比率</b>	<b>50.8%</b>	<b>51.6%</b>	<b>0.8pt</b>

## 01

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

区分	2024年度	2025年度	増減
<b>営業活動</b>	<b>128</b>	<b>637</b>	<b>509</b>
税金等調整前当期純利益	217	448	231
減価償却費	374	386	12
運転資本	△537	△60	477
その他（税金等）	74	△138	▲212
<b>投資活動</b>	<b>△495</b>	<b>△594</b>	<b>▲99</b>
<b>（フリー・キャッシュ・フロー）</b>	<b>△367</b>	<b>43</b>	<b>410</b>
<b>財務活動</b>	<b>419</b>	<b>△71</b>	<b>▲491</b>
<b>現金・現金同等物増減</b>	<b>73</b>	<b>1</b>	<b>▲72</b>
<b>現金・現金同等物期末残高</b>	<b>1,075</b>	<b>1,076</b>	<b>1</b>

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
フリー キャッシュ・ フロー（億円）	120	△159	221	△367	<b>43</b>
債務償還年数 (年) *1	1.8	7.5	2.5	18.7	<b>4.0</b>
インタレスト・ カバレッジ・ レシオ（倍）*2	81.8	20.0	27.1	3.4	<b>16.8</b>

\*1 有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

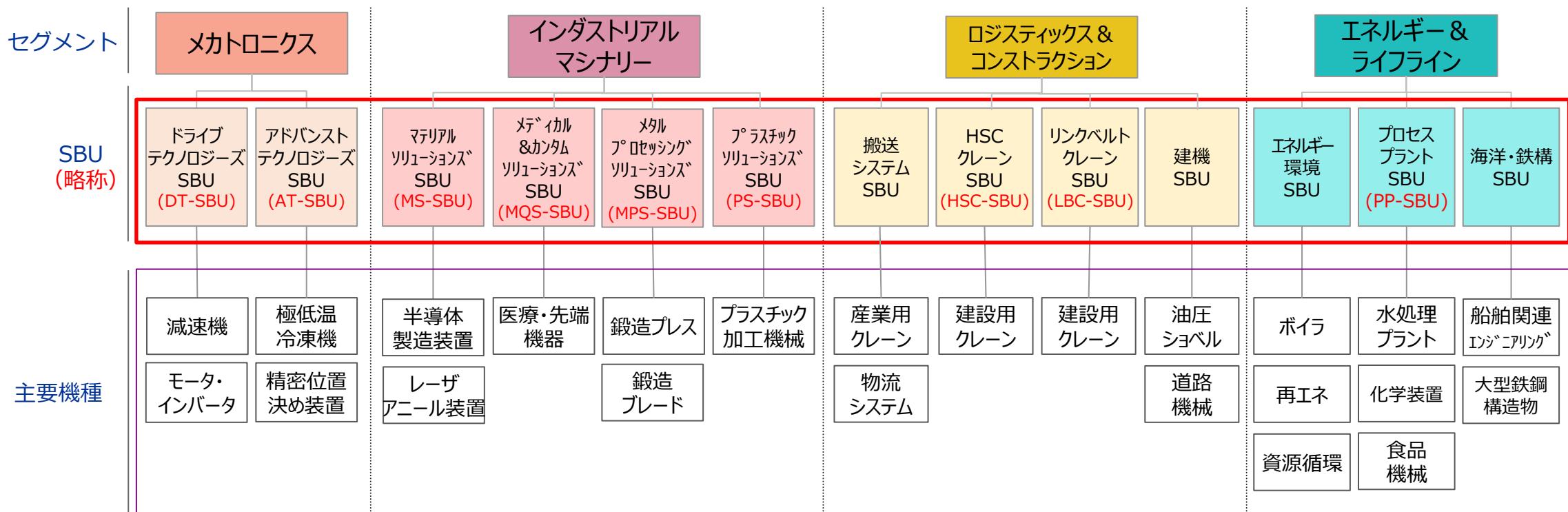
\*2 営業キャッシュ・フロー÷利払い

02

## 2026年度 業績予想

## 02 セグメント組織強化：戦略ビジネスユニット（SBU）の正式組織化

- セグメントを構成していた事業部制を廃止し、あらたにセグメントを構成する組織として、市場起点で価値創出を担う戦略ビジネスユニット（SBU）制を立ち上げ
- 顧客基盤や技術の連携によるシナジー強化および業務効率化を進め、将来に向けた新たな柱となる事業を創出し、さらなる成長に向け加速していく



※SBUのみ記載

## 02

## 2026年度業績予想 サマリー

## 2026年度予想

/前年同期、(増減)

## 前年同期比

トピック  
市況認識

1 受注高	:	11,200億円	/	11,584億円	(▲384億円)
2 売上高	:	10,900億円	/	10,669億円	(231億円)
3 営業利益	:	600億円	/	515億円	(85億円)
4 ROIC	:	4.8%	/	4.2%	(0.6pt)

## 受注高

メカトロニクスで北米・欧州中心に増加するも  
エネルギー＆ライフラインで前年に大口の受注があった影響により減少

## 売上高

メカトロニクスでの受注の増加に伴い増加

## 営業利益

売上の増加に伴い増加

- 国内市況は底堅く推移。
- 北米は不確実性あるも堅調、欧州は緩やかな回復が続く。
- 中国は引き続き全般に需要の低迷が継続。

## 02

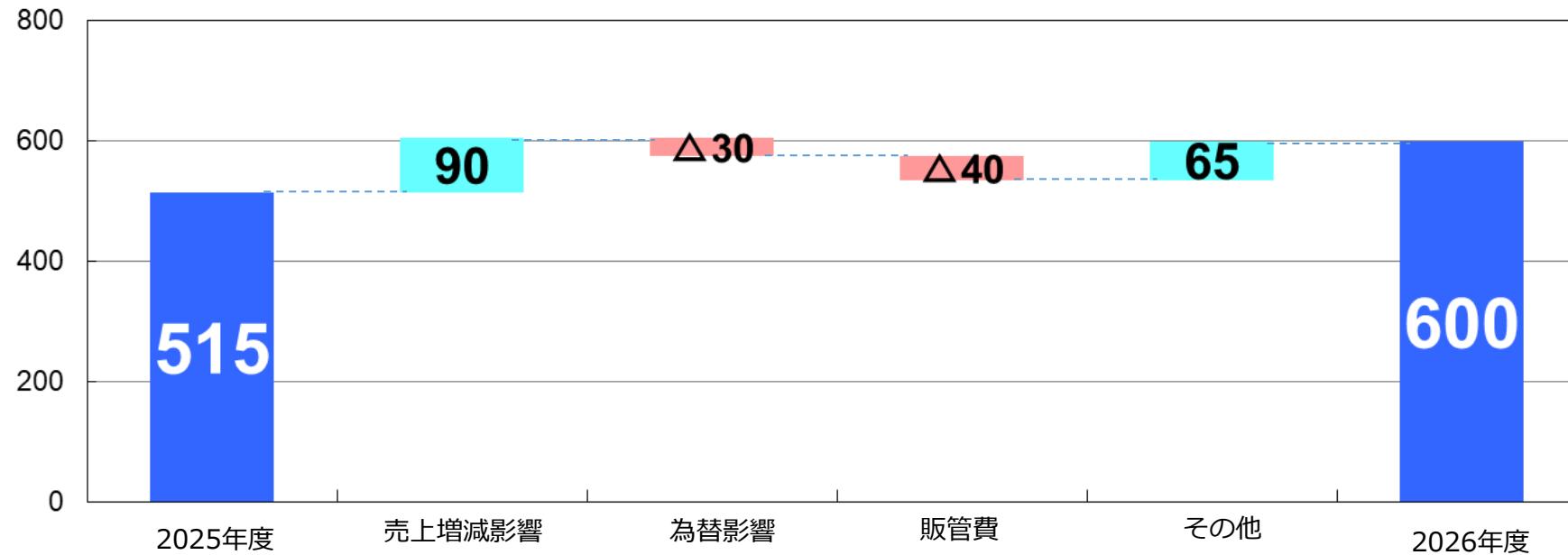
## 2026年度 業績予想

単位：億円	2025年度 実績	2026年度 予想	前期比増減
受注高	11,584	11,200	▲384
売上高	10,669	10,900	231
<b>営業利益</b>	<b>515</b>	<b>600</b>	<b>85</b>
営業利益率	4.8%	5.5%	0.7pt
<b>経常利益</b>	<b>473</b>	<b>550</b>	<b>77</b>
経常利益率	4.4%	5.0%	0.6pt
特別損益	△25	△50	▲25
<b>親会社株主純利益</b>	<b>309</b>	<b>340</b>	<b>31</b>
親会社株主利益率	2.9%	3.1%	0.2pt
1株当たり配当	125円	145円	-
総還元性向	48.6%	76.2%	-
ROI C(税引後)	4.2%	4.8%	-
【参考】ROE	4.7%	5.0%	-
為替レート(ドル)	¥150	¥145	-

## 02

## 2025年度/2026年度 営業利益増減分析

単位：億円



売上増減影響 セグメント別内訳		単位：億円
● メカトロニクス	50	
● インダストリアル マシナリー	30	
● ロジスティックス& コンストラクション	30	
● エネルギー& ライフライン	△20	
合計	90	

## 02

## 2026年度 セグメント別業績予想

セグメント	受注高			売上高			営業利益		
	2025年度 実績	2026年度 予想	増減	2025年度 実績	2026年度 予想	増減	2025年度 実績 /営業利益率(%)	2026年度 予想 /営業利益率(%)	増減
メカトロニクス	2,753	<b>2,890</b>	137	2,712	<b>2,880</b>	168	190	7.0	<b>220</b> 7.7
インダストリアル マシナリー	2,251	<b>2,240</b>	▲11	2,226	<b>2,280</b>	54	42	1.9	<b>80</b> 3.5
ロジスティックス&コンストラクション	3,991	<b>3,990</b>	▲1	3,889	<b>3,980</b>	91	140	3.6	<b>190</b> 4.8
エネルギー&ライフライン	2,527	<b>2,020</b>	▲507	1,776	<b>1,700</b>	▲76	121	6.8	<b>80</b> 4.7
その他	63	<b>60</b>	▲3	65	<b>60</b>	▲5	21	-	<b>30</b> -
合計	11,584	<b>11,200</b>	▲384	10,669	<b>10,900</b>	231	515	4.8	<b>600</b> 5.5

各セグメントに含まれる戦略ビジネスユニットの受注・売上内訳を 4.Appendix に記載

## 02

## メカトロニクス セグメント

## ■ 2025年度実績（前年同期増減）

## 受注高

**2,753億円(+332億円)**

変減速機は国内、海外とも需要が回復、モータ・インバータは欧州顧客の在庫調整が一巡、極低温冷凍機も半導体関連需要が増加

## 売上高

**2,712億円(+148億円)**

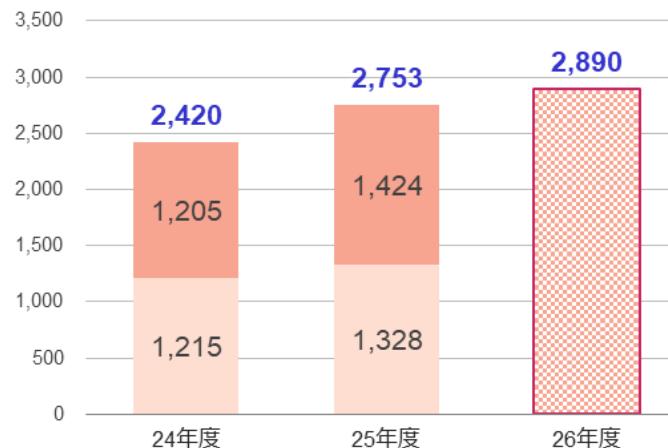
受注の増加に伴い、変減速機、モータ・インバータ、極低温冷凍機にて増加

## 営業利益

**190億円(+73億円)**

売上の増加に伴い増加

## ■ 受注高推移



※24、25年度グラフの下段は上期、上段は下期を示す

## ■ 2026年度予想（前年同期増減）

## 受注高

**2,890億円(+137億円)**

変減速機、モータ・インバータとも欧米での堅調な需要を受けて増加

## 売上高

**2,880億円(+168億円)**

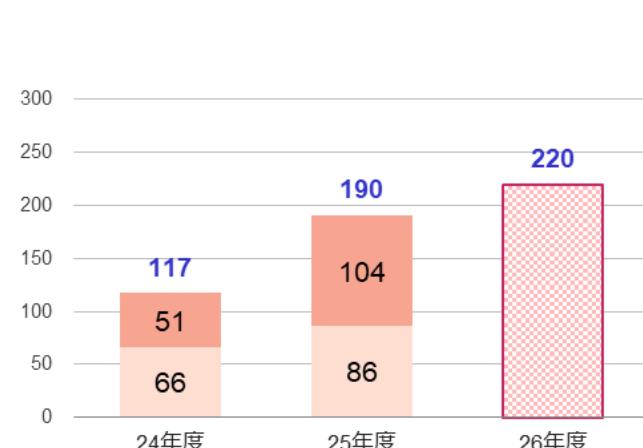
受注の増加に伴い、変減速機、モータ・インバータにて増加

## 営業利益

**220億円(+30億円)**

売上の増加に伴い増加

## ■ 営業利益推移



単位：億円

## 02

## インダストリアル マシナリー

## ■ 2025年度実績（前年同期増減）

## 受注高

**2,251億円(+191億円)**

プラスチック加工機械は価格改定前の駆け込み受注などにより増加、先端医療機器も増加

## 売上高

**2,226億円(▲114億円)**

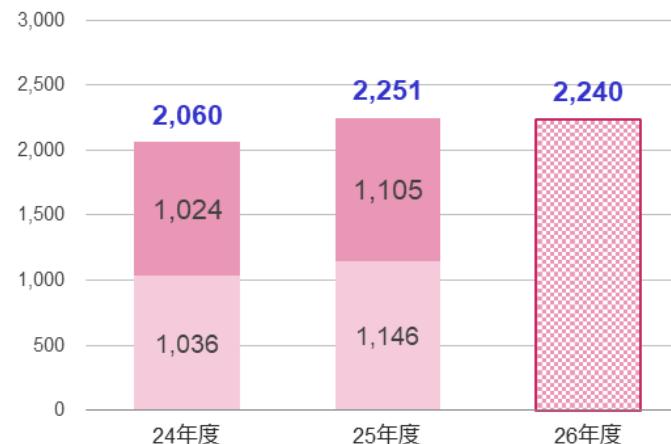
プラスチック加工機械の受注が増加するも、半導体製造装置の受注残が少なかったことから減少

## 営業利益

**42億円(▲81億円)**

主に半導体製造装置の売上の減少を受けて減少

## ■ 受注高推移



※24、25年度グラフの下段は上期、上段は下期を示す

## ■ 2026年度予想（前年同期増減）

## 受注高

**2,240億円(▲11億円)**

半導体製造装置は顧客の一部投資再開により増加するも、プラスチック加工機械は前年の反動により減少

## 売上高

**2,280億円(+54億円)**

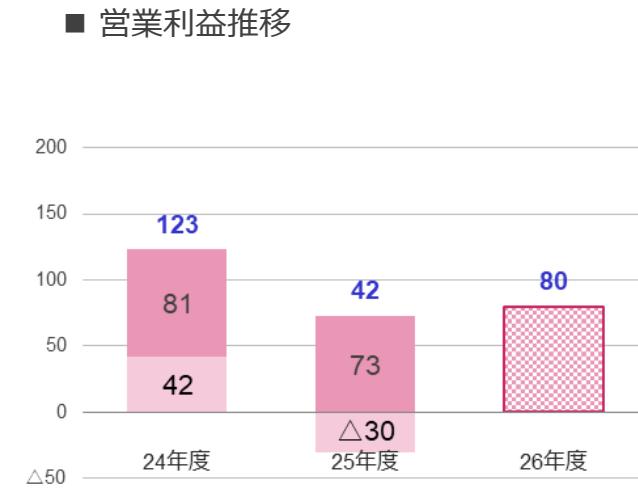
半導体製造装置の受注の増加を受け増加

## 営業利益

**80億円(+38億円)**

売上の増加に加え、プラスチック加工機械の欧州での構造改革の効果を見込む

## ■ 営業利益推移



単位：億円

## 02

## ロジスティックス＆コンストラクション

## ■ 2025年度実績（前年同期増減）

## 受注高

**3,991億円(+593億円)**

油圧ショベルは国内での価格改定に伴う駆け込み受注により増加、産業用クレーンも造船・鉄鋼向けを中心に増加

## 売上高

**3,889億円(▲36億円)**

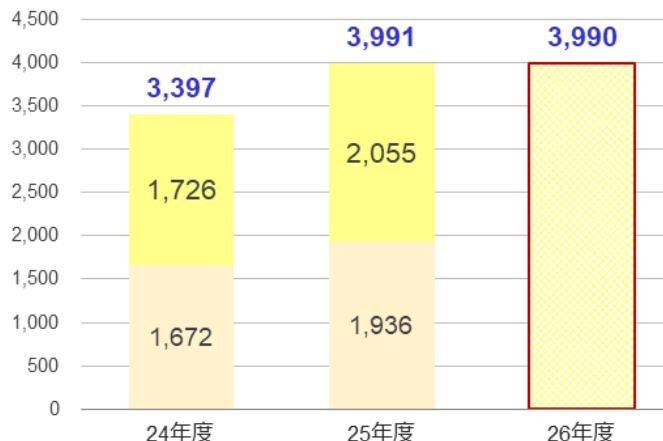
産業用クレーンは受注残があったことから増加するも、油圧ショベルの前期の受注が少なかったことから減少

## 営業利益

**140億円(▲113億円)**

油圧ショベルの売上の減少、産業用クレーンの高採算案件の減少、および貸倒引当金増加の影響により減少

## ■ 受注高推移



※24、25年度グラフの下段は上期、上段は下期を示す

## ■ 2026年度予想（前年同期増減）

## 受注高

**3,990億円(▲1億円)**

油圧ショベル、建設用クレーンで増加するも、産業用クレーンで前年に一定の受注を確保した反動があり、全体では前年並み

## 売上高

**3,980億円(+91億円)**

油圧ショベル、建設用クレーンの受注の増加に伴い増加

## 営業利益

**190億円(+50億円)**

売上の増加及び貸倒引当金の影響が無くなることにより増加

## ■ 営業利益推移



単位：億円

## 02

## エネルギー &amp; ライフライン

## ■ 2025年度実績（前年同期増減）

## 受注高

**2,527億円(+1,109億円)**

国内、欧州でバイオマス発電設備を受注した他、水処理装置、海洋構造物などの受注もあり増加

## 売上高

**1,776億円(▲43億円)**

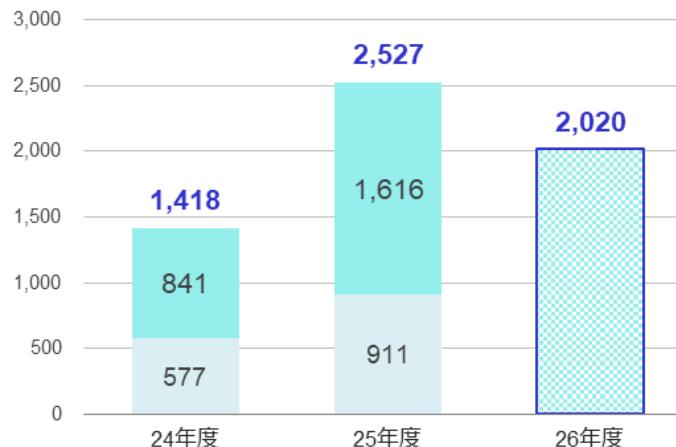
主にバイオマス発電設備の受注残が少なかったことから減少

## 営業利益

**121億円(+83億円)**

売上が減少するも、プロジェクトの採算改善、液化空気エネルギー貯蔵システム（LAES）にかかる開発費の減少などにより増加

## ■ 受注高推移



※24、25年度グラフの下段は上期、上段は下期を示す

## ■ 2026年度予想（前年同期増減）

## 受注高

**2,020億円(▲507億円)**

前年に大型案件の受注があった影響により前年比で減少

## 売上高

**1,700億円(▲76億円)**

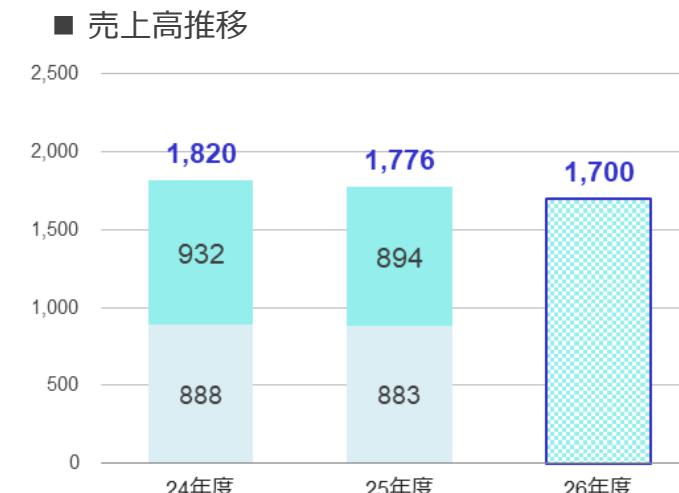
蒸気タービン・プロセスポンプの事業譲渡の影響により減少

## 営業利益

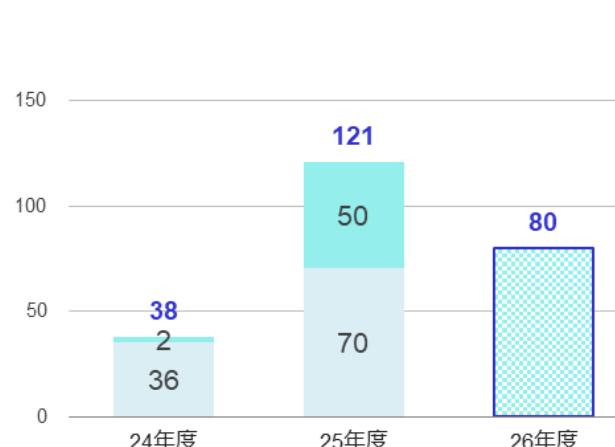
**80億円(▲40億円)**

売上の減少に伴い減少

## ■ 売上高推移



## ■ 営業利益推移



単位：億円

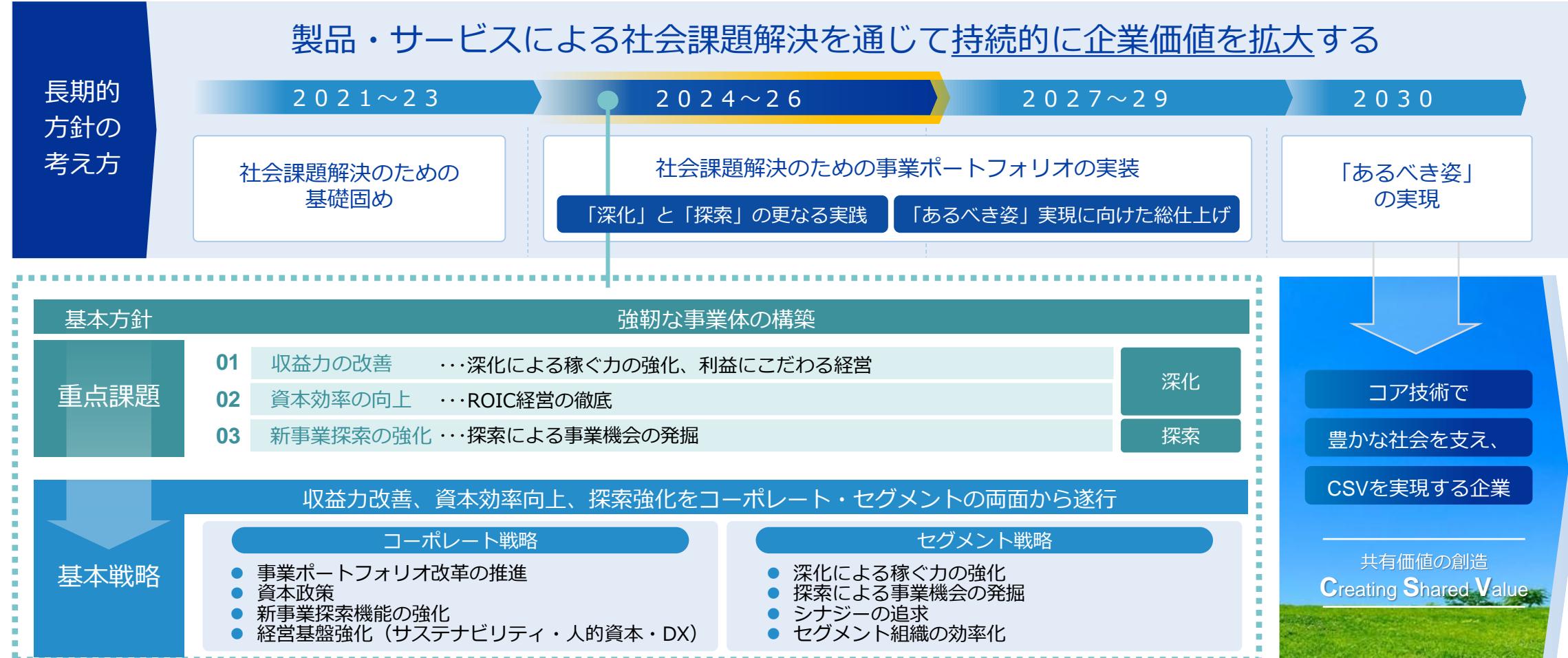
03

## 「中期経営計画2026」（中計26）進捗

## 03

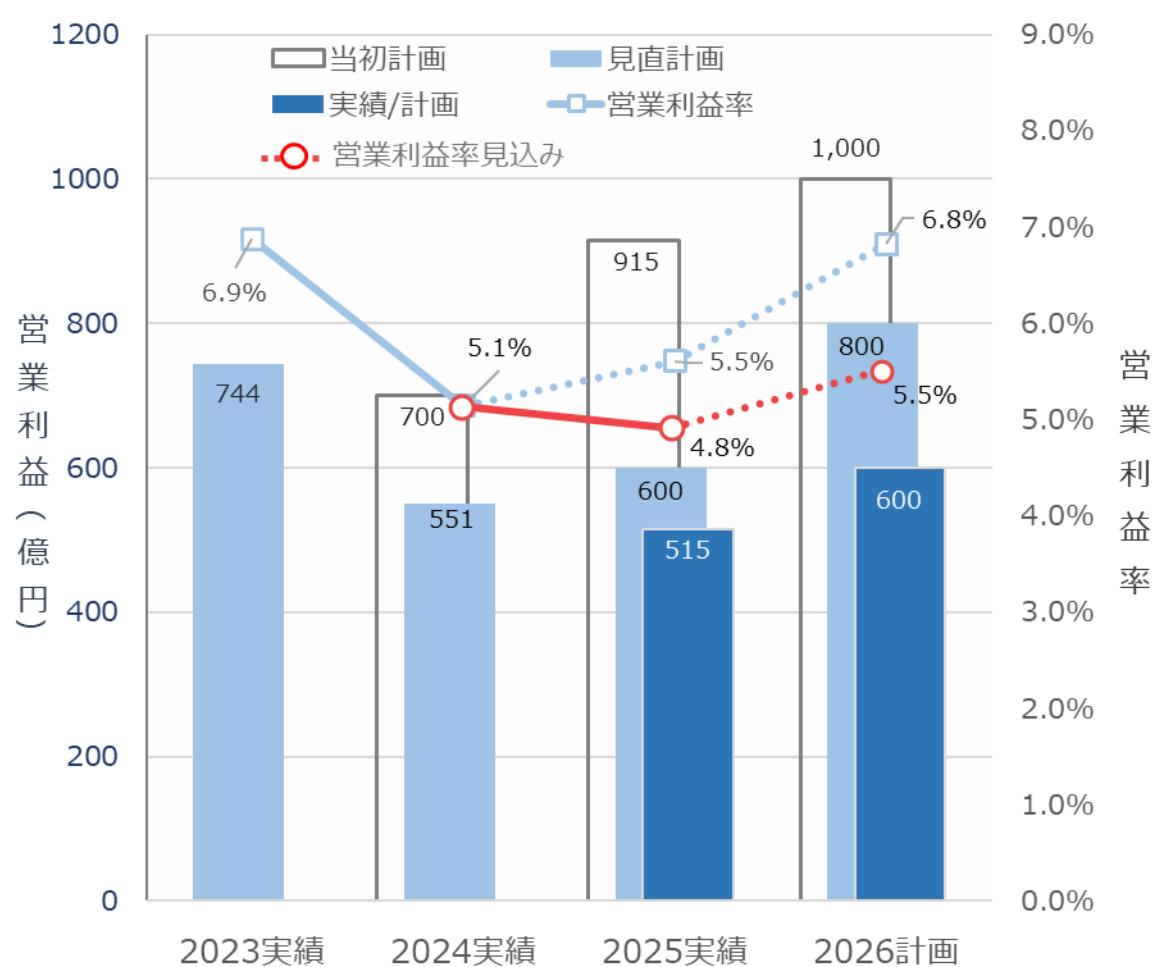
## 基本方針および骨子

- 中計26で設定した3つの重点課題の対応が遅れ、足元の業績が下振れしたため2025年2月に計画値の見直しを実施
- 見直中計の数値目標達成に向けた対応が求められる中、主力事業および半導体装置事業の収益性改善が喫緊の課題



## 03

## 事業環境の変化と中計 26 の見通し



## | 25年 上半期からの事業環境の変化

## 欧洲事業

- 電機制御事業は米国関税影響による供給制約で生産減
- EV回復基調も先行き不透明感による想定需要の下振れ受け、プラスチック加工機械事業への影響が継続

## 半導体事業

- 設備投資はAI向け以外の半導体、パワー半導体の需要低調によりイオン注入装置、MCZ用超電導マグネットの回復遅れ継続
- 25年の中国市場は回復基調に入りつつある
- イメージセンサ市場は26年後半以降の回復を想定

## ショベル事業

- 国内の機械稼働状況に落ち込みはないが、機械飽和継続
- 米国の25年は代理店在庫の高止まりで出荷減、26年から関税影響が本格化し、購買マインド低下による需要減

2025年度は半導体装置事業およびショベル事業の落ち込みが顕著であり、見直計画からさらに85億円の営業利益低下

両事業は回復基調にあるものの、**現状では2026年度の営業利益800億円の確保は困難な状況。この状況も踏まえ、人員対策も含めた主力事業の構造改革を実行し、将来に向けた経営基盤の強化を行う**

構造改革による収益性向上と投下資本圧縮を進めるとともに、成長領域への経営資源を集中しROICおよびROEの向上を目指す

### 主力事業の構造改革

DT-SBU・PS-SBU・  
建機SBU・HSC-SBU・  
本社部門

### 事業ポートフォリオ改革

### 資産売却

- 人員対策の実行
  - 希望退職募集
  - 65才超再雇用更新の見直し
- 需要想定見直しによる生産体制見直し
- 国内／海外製造拠点再編等
- 資本効率と戦略適合性の観点から判断し実行
- 有価証券売却
- 遊休地処分

収益力の向上と年齢構成の是正を通じた組織活性化を図る

成長領域への  
経営資源集中

25年度実績	
営業利益	515億円
ROIC	4.2%
ROE	4.7%

26年度見通し	
営業利益	600億円
ROIC	4.8%
ROE	5.0%

27年度以降	
営業利益	700億円以上
ROIC	6.0%以上
ROE	6.0%以上

## 03

## 戦略課題に対するKPI進捗

- ギヤビジネス、電機制御事業、プラスチック加工機械事業の収益力強化については概ね計画通り進捗
- しかしながら外部環境の変化を受け、収益力の改善、資本効率の向上の進捗に遅れ
- 特に、半導体装置事業、ショベル事業の収益力改善が急務であり、重点施策を加速すると共に人員対策も含めた構造改革を実施する

	戦略課題		KPI	メトリック	26年計画 (25年2月時点)	26年見込 (26年2月)	進捗
コーポレート	収益力の改善	深化による稼ぐ力の強化 利益にこだわる経営	営業利益率	営業利益率 営業利益	6.8% 800億円	5.5% 600億円	×
		戦略再構築事業の推進	改革案の策定と実行	進捗率	100%	100%	○
	資本効率の向上	ROIC経営の推進	ROIC	ROIC	7.0%	4.8%	×
	重点投資領域事業の伸長		半導体事業の売上拡大	売上	1,172億円	863億円	×
メカトロニクス	収益低迷事業の収益力強化		ギヤビジネスの営業利益率改善	営業利益率	9.7%	9.2%	△
			電機制御事業の受注拡大	受注	456億円	468億円	○
インダストリアル マシナリー	収益低迷事業の収益力強化		プラスチック加工機械の営業利益率改善	営業利益率	6.3%	6.0%	△
ロジスティックス & コンストラクション	基盤事業の収益力強化		ショベル事業の受注拡大	受注	2,600億円	2,150億円	×

## 03

## 資本政策

- 営業CFが想定よりも低迷。回復へ向け、構造改革も含めた施策を着実に実行する。
- 株主還元方針は、25年2月に見直した中計方針を堅持する。
  - ①安定的かつ継続的な配当の実現（最低配当125円、DOE3.5%以上を目指す）  
26年度配当は、一株あたり145円を予定
  - ②資本政策を加味した自社株買いを26年度も実施

※（ ）は中計見直し時(25年2月)

キャッシュ・イン		キャッシュ・アウト	
<b>収益力の向上</b> キャッシュフロー創出力の向上	<b>営業CF (研究開発費控除前) 2,350億円 (2,800億円)</b>	<b>設備投資 (M&amp;Aを含む) 1,700億円 (1,900億円)</b>	<b>重点投資領域への投資 ロボティクス・自動化、半導体、先端医療機器、 環境・エネルギー分野に重点投資 700億円</b>
<b>運転資本の圧縮</b> 製造変革活動による 生産リードタイム改善		<b>研究開発費 950億円 (900億円)</b>	<b>重点投資領域への投資 ロボティクス・自動化、半導体、先端医療機器、 環境・エネルギー分野に重点投資 700億円</b>
<b>低ROIC事業の構造改革</b>			
<b>事業ポートフォリオ改革</b> 事業譲渡、資産売却	<b>有利子負債 1,000億円 (700億円)</b>	<b>株主還元 700億円 (700億円)</b>	<b>株主資本に見合う安定配当の実施 DOE 3.5%以上 下限配当は125円／株</b>
<b>有利子負債の活用</b> 財務健全性を損なわない 範囲で有利子負債を活用			<b>資本政策を加味した自社株買いの実施 総還元性向 40%以上</b>

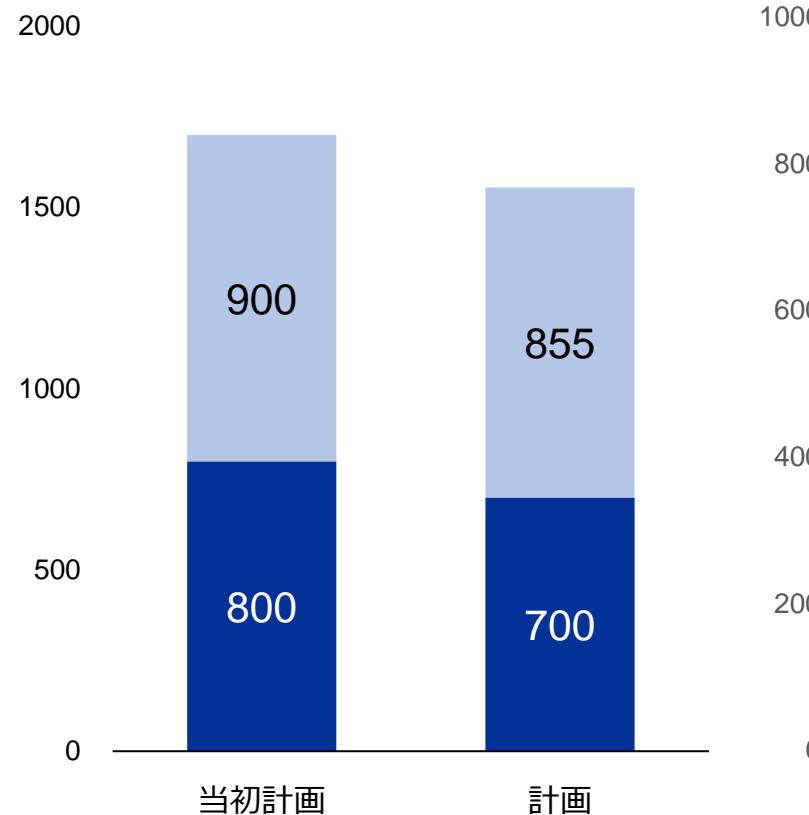
## 03

## 投資の実施状況

## 中計26 設備投資

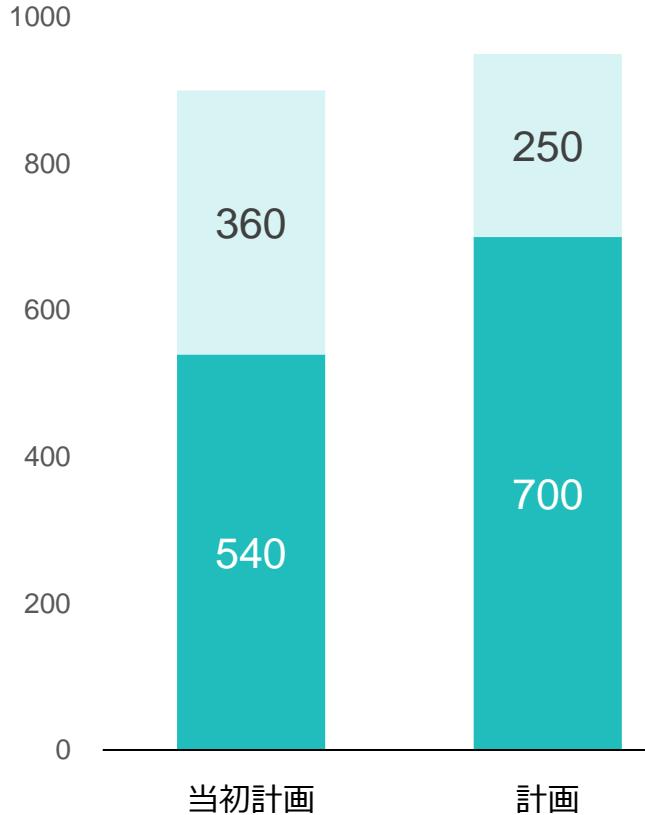
※ M&amp;Aを除く

■重点投資 ■通常投資



## 中計26 研究開発投資

■重点投資 ■基盤その他



## ● 設備投資

中計26当初計画に対して  
概ね90%の計画 (M&Aを除く)

## ● 研究開発投資

中計26当初計画に対して  
ほぼ計画通り

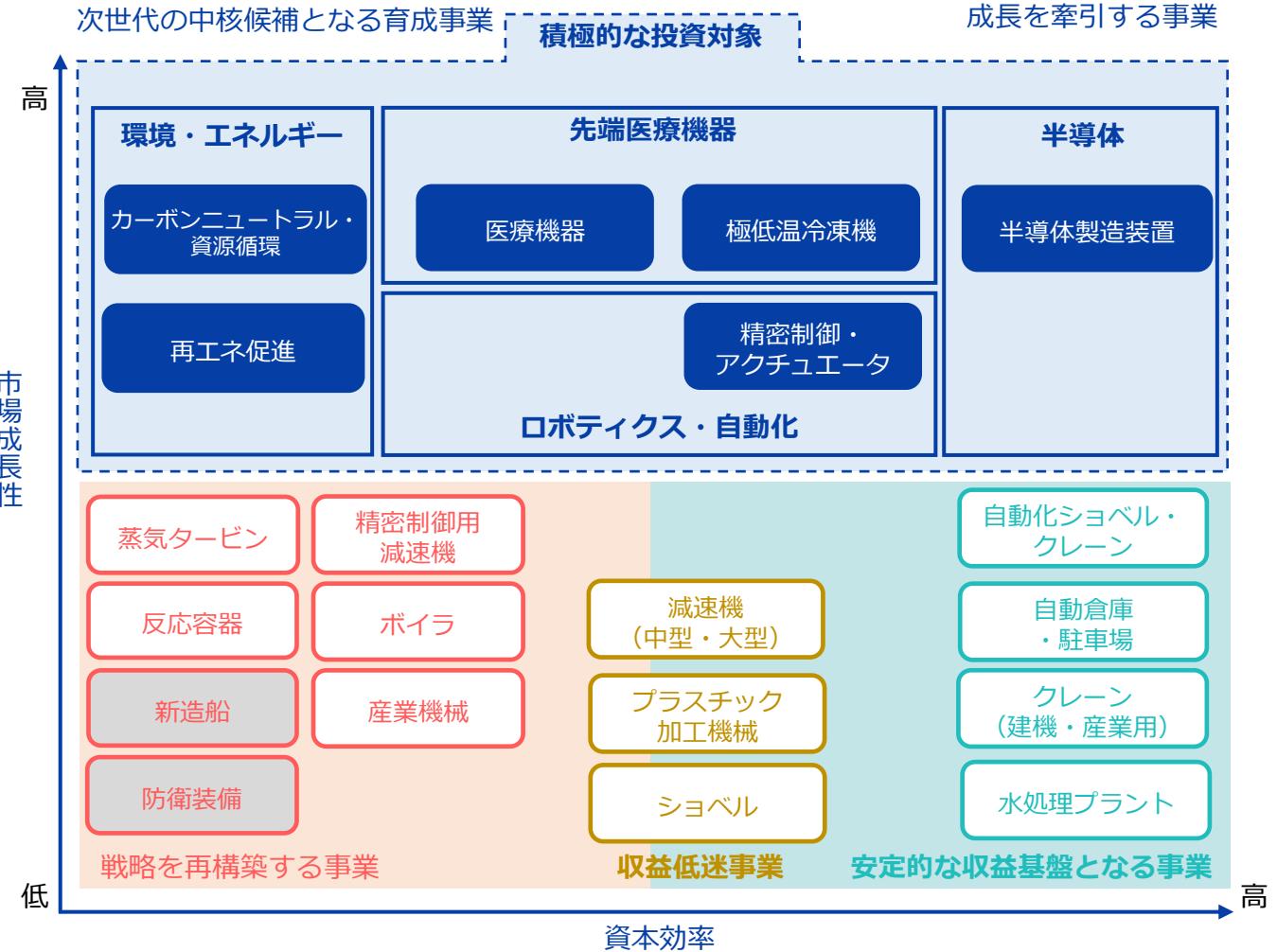
## ● M&amp;A投資

中計26当初計画に対してほぼ  
計画通り (3か年で150~200億円の計画)

## 03

## 事業ポートフォリオ

- 低成長・低収益事業の戦略再構築を実施し、成長を見込む4つの重点投資領域事業へ経営資源を集中し事業の拡大を図る



## 重点投資領域事業

## 事業規模

合計 約3,400億円

- ロボティクス・自動化分野の成長
- 半導体分野の成長
- 先端医療機器分野の成長
- 環境・エネルギー分野の成長

## 収益低迷事業

## 事業規模

合計 約4,500億円

- ギャビジネスの営業利益改善
- 電機制御事業の受注拡大
- プラスチック加工機械の営業利益改善
- ショベル事業の営業利益改善
- 欧州事業の構造改革

## 戦略を再構築する事業

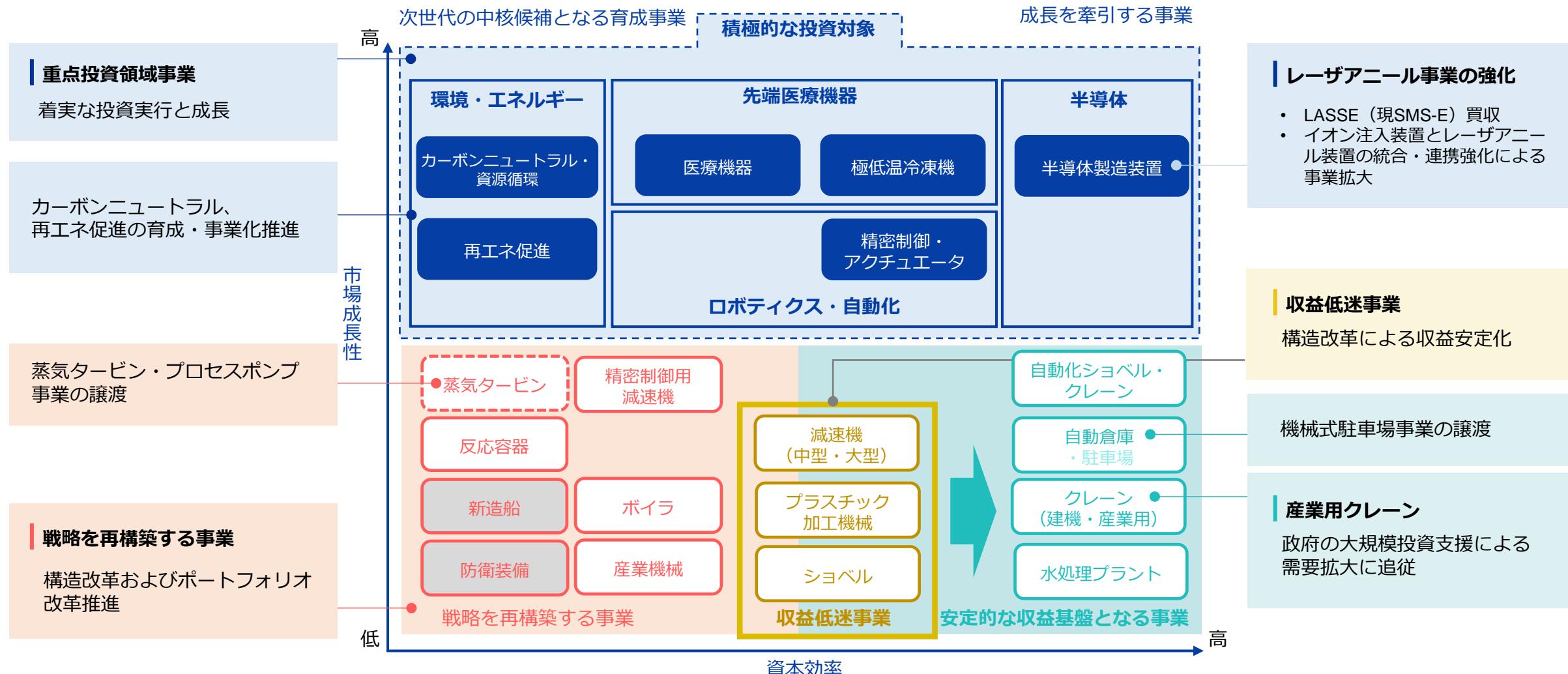
## 事業規模

合計 約1,200億円

- ポートフォリオマネジメント加速  
(蒸気タービン、反応容器、ボイラ、産業機械、精密制御用減速機)

## 03

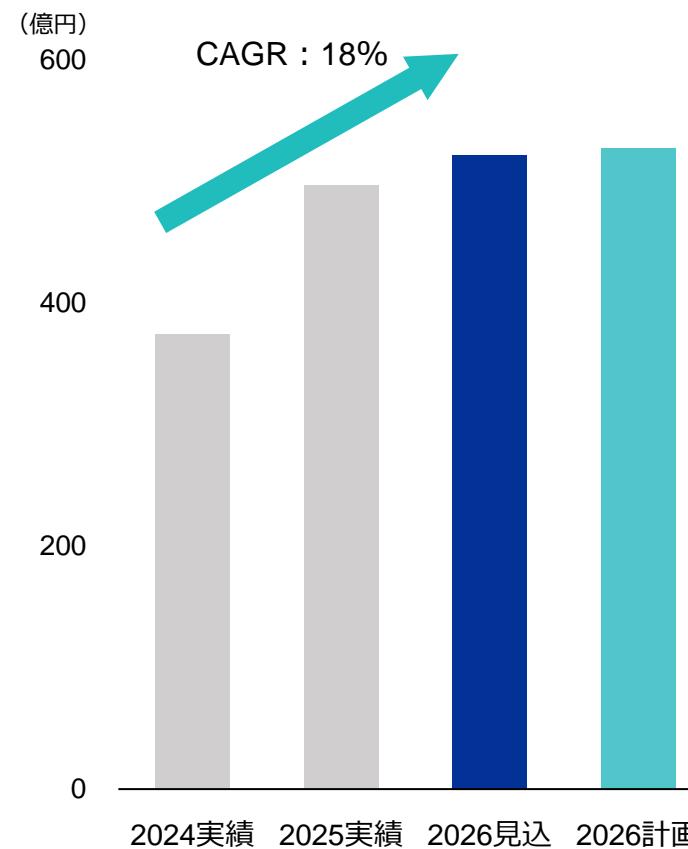
## 事業ポートフォリオおよび対処すべき課題（進捗状況）



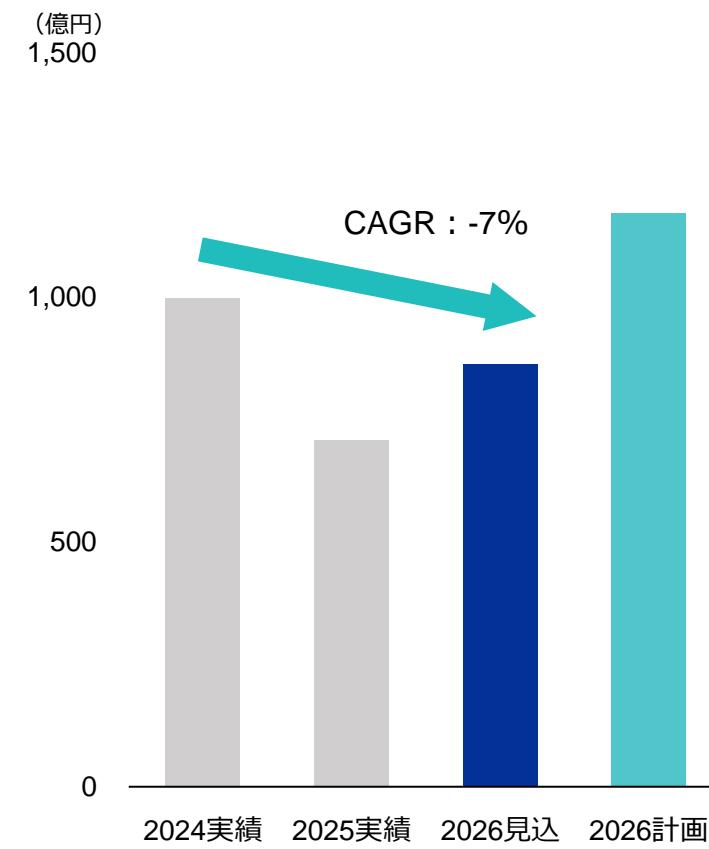
## 03

## 重点投資領域の伸長 進捗状況

ロボティクス・自動化分野：売上推移



半導体分野：売上推移



## 中計26計画 進捗状況

## ロボティクス・自動化分野

2024年～2026年のCAGRは約18%で伸長が見込まれ、ほぼ計画通りに進捗

## 半導体分野

AI向けなど先端半導体は伸長するも、中国市場の急変、市場回復の遅れなどにより、半導体装置事業が影響を受け大幅未達

- LASSE（現SMS-E）を買収
- 先端分野向けなど、旺盛なレーザアニール装置の引き合いに対応すべく生産体制増強を実施中

## 先端医療機器分野

## 環境・エネルギー分野

（ほぼ計画通りに進捗中）

## 03

## 低収益事業の構造改革 進捗状況

## ● 低収益事業の構造改革を断行し、収益力を強化する

セグメント	メカトロニクス (DT-SBU)		インダストリアルマシナリー (PS-SBU)	ロジスティックス& コンストラクション (建機SBU)																																															
KPI	ギャビジネスの営業利益率改善	電機制御事業の受注拡大	プラスチック加工機械の 営業利益率改善	ショベル事業の受注拡大																																															
25年 進捗実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>機種統廃合及び価格改定、不採算案件撤退により収益改善傾向</li> <li>LSPAとIDLの協業により、販売シナジーの拡大や新しい市場への展開が可能になり、計画達成見込み</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>非効率機種の廃止に加え、需要想定に基づき千葉工場体制を再編</li> <li>PS-SBU全体では計画を達成、欧州は計画未達のため、SDGで追加施策を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内はレンタル需要減少の影響で計画未達</li> <li>北米は競争激化で代理店在庫が高止まり計画大幅未達、販促施策不十分によりシェア下落</li> </ul>																																															
計画 ・ 見込み	<p>ギャビジネス（営業利益率）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>計画</th> <th>見込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24実績</td> <td>6.5%</td> <td>6.5%</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>6.8%</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td>10.0%</td> <td>10.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>電機制御（受注）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>計画</th> <th>見込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24実績</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td>450</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table>	年	計画	見込み	24実績	6.5%	6.5%	25年	6.8%	6.8%	26年	10.0%	10.0%	年	計画	見込み	24実績	300	300	25年	350	350	26年	450	450	<p>プラスチック加工機械（営業利益率）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>計画</th> <th>見込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24年実績</td> <td>-3.0%</td> <td>-3.0%</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>1.0%</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td>5.0%</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年	計画	見込み	24年実績	-3.0%	-3.0%	25年	1.0%	1.0%	26年	5.0%	5.0%	<p>油圧ショベル（受注）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>計画</th> <th>見込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24実績</td> <td>1,500</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>1,800</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table>	年	計画	見込み	24実績	1,500	1,500	25年	1,800	1,800	26年	2,000	2,000
年	計画	見込み																																																	
24実績	6.5%	6.5%																																																	
25年	6.8%	6.8%																																																	
26年	10.0%	10.0%																																																	
年	計画	見込み																																																	
24実績	300	300																																																	
25年	350	350																																																	
26年	450	450																																																	
年	計画	見込み																																																	
24年実績	-3.0%	-3.0%																																																	
25年	1.0%	1.0%																																																	
26年	5.0%	5.0%																																																	
年	計画	見込み																																																	
24実績	1,500	1,500																																																	
25年	1,800	1,800																																																	
26年	2,000	2,000																																																	

## 03

## 戦略再構築事業の改革推進

- ポートフォリオ改革の一環として、蒸気タービン・プロセスポンプおよび機械式駐車場事業の譲渡を決定

事業・機種	商品概要	対応状況
蒸気タービン ・ プロセスポンプ	<p><b>蒸気タービン</b></p>  <p><b>プロセスポンプ</b></p> 	<p>蒸気タービンおよびプロセスポンプを製造・販売する新日本造機株式会社（以下SNM）の発行済み全株式を株式会社西島製作所へ譲渡する株式譲渡契約を締結</p> <p><b>背景および期待される効果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNMの事業譲渡によって得られた資金を、成長を牽引する事業および次世代の中核機種となる育成事業に投入する</li> <li>株式会社西島製作所は水ポンプ事業で世界でも高いシェアを有する企業であり、ベストオーナーと判断</li> <li>譲渡対象の事業規模：売上高200億円（2025年度）</li> <li>譲渡対象の従業員数：530名</li> <li>譲渡時期：2026年7月予定</li> </ul>
機械式駐車場	<p><b>機械式駐車場（スマートパーキング）</b></p> 	<p>住友重機械搬送システム株式会社（以下MH）が製造・販売する機械式駐車場の事業をIHI運搬機械株式会社に承継させる吸収分割契約を締結</p> <p><b>背景および期待される効果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IHI運搬機株式会社は機械式駐車場事業においては国内トップ企業であり事業基盤強化と業界発展に寄与、MHは経営資源をクレーン等の他事業にシフトし、更なる高収益事業体を目指す</li> <li>譲渡対象の事業規模：売上高80億円（2025年度）</li> <li>譲渡対象の従業員数：90名</li> <li>譲渡時期：2026年11月予定</li> </ul>

## 03

## メカトロニクス セグメント 重点施策 実施状況

## 2026年度利益目標



メカトロニクス

(25年2月時点計画)  
240億円

▶ (予想)  
220億円

## 現状評価

- ギヤモータ事業の収益力強化も価格転嫁に一部遅れあり、サービス事業強化・拡大は継続中
- PC・スマホ用半導体案件の停滞により精密位置決め装置苦戦、狙いの海外大手顧客攻略を推進中

	重点施策	進捗状況	進捗
重点投資領域			
電機制御、 ロボティクス・自動化 (DT-SBU)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 搬送物流市場での省エネ・高効率化に注力したビジネス展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 搬送物流市場向け分散制御インバータ搭載型ギヤモータの開発が遅れるも、グローバルで顧客開拓中</li> </ul>	△
半導体 (コンポーネント) (AT-SBU)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小型精密モジュール事業の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 商品の開発およびライトハウスカスタマー開拓実施中</li> </ul>	△
基盤事業領域			
中型/大型減速機 (DT-SBU)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 精密位置決め装置の新市場拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 狹いの米国顧客での精密位置決め装置評価開始</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 米国に半導体サブシステム・コンポーネント開発センター設置、グローバルトップ顧客開拓の加速</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 25年11月に米国開発センター開設、評価用装置の設置完了し、グローバルトップ顧客へのアプローチ開始</li> </ul>	△
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 更新需要へのサービス強化とドロップイン提案、高効率モータを組合せたギヤモータ商品力強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内サービス体制見直し、E/U活動強化、ドロップインのグローバル展開強化</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機種の集約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機種統廃合及び価格改定、不採算案件・顧客からの撤退</li> </ul>	△

# 03 インダストリアル マシナリー セグメント 重点施策 実施状況

## 2026年度利益目標

 インダストリアル マシナリー	 (25年2月時点計画) 220億円	 (予想) 80億円	現状評価
			<ul style="list-style-type: none"> <li>AI向け半導体以外の需要低調によりイオン注入装置、MCZ用超電導マグネットが苦戦</li> <li>プラスチック加工機械事業の構造改革を実行するも、欧州市場は想定の需要回復に遅れ</li> </ul>

	重点施策	進捗状況	進捗
重点投資領域			
半導体 (MS-SBU)	<ul style="list-style-type: none"> <li>差別化商品の開発と、生産能力拡大によるイオン注入装置 売上拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージセンサ、パワー半導体の需要低下により25年売上大幅減。26年はロジックで需要が増加する見込み</li> </ul>	×
	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリ、ロジックの新規分野展開と欧米顧客へのイオン注入装置販売展開、将来開発の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>26年1月に半導体装置事業推進室を新設、レーザアニール装置増産に向けた活動を開始、新規顧客への対応および装置共同開発を推進（イオン注入装置、レーザアニール装置）</li> </ul>	○
基盤事業領域			
プラスチック加工機械 (PS-SBU)	<ul style="list-style-type: none"> <li>機種整理と業務プロセス変革</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>25年末迄に22機種生産中止完了（1年前倒し）</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>追加再構築策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想定需要を引き下げ、工場体制・機能の再編と販売体制・配置の再編に着手</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGの構造改革実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初計画通り遂行中も、想定以上の需要減を見込み追加施策検討中</li> </ul>	△

## 03

## ロジスティックス&amp;コンストラクションセグメント 重点施策 実施状況

## 2026年度利益目標



(25年2月時点計画)  
270億円

(予想)  
190億円

## 現状評価

- 社会課題解決に向けた電動化、遠隔・自動化、DXなどの先進技術開発を推進中
- 建設用クレーンとショベルの国内需要減少とショベルの北米競争激化による量の減少で収益低下

	重点施策	進捗状況	進捗
重点投資領域			
ロボティクス・自動化 (セグメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>セグメントに開発センター整備</li> <li>共通の電動化/遠隔・自動化/DXなど開発促進 (13.5トン電動ショベルなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発センターの人員を増強。DXなどの開発部門を新設</li> <li>13.5トンの電動ショベルをCSPI-EXPO2025 (国際建設・測量展) に出展、道路機械の自動化機能「ASTRA1.0」を発売</li> </ul>	○ ○
基盤事業領域			
建設機械 (建機SBU) (HSCクレーンSBU)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新機種投入による差別化と収益性改善</li> <li>横須賀製造所活用による最適生産体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日米主要市場で油圧ショベル新型モデルを順次投入し需要掘り起こし</li> <li>27年度より生産開始、本格生産開始は28年度へ遅れ</li> </ul>	× △
物流機械 (搬送システムSBU)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動化とカーボンニュートラルによる商品差別化開発 (ARTG)</li> <li>DX活用 (SIRMS®) によるサービス高付加価値化の展開</li> <li>造船需要取り切りと新市場の開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>FC燃料置換タイプのARTGを東京港へ納入開始</li> <li>SIRMS搭載機は累計56台へ拡大</li> <li>標準提案で設計負荷を軽減するとともにリソースを優先投入、造船需要増加を受け生産能力増強検討中</li> </ul>	○ ○ ○

# 03 エネルギー＆ライフライン セグメント 重点施策 実施状況

## 2026年度利益目標

 エネルギー＆ ライフライン	(25年2月時点計画) 70億円	(予想) 80億円	現状評価
			<ul style="list-style-type: none"> <li>カーボンニュートラル事業、再エネ促進事業の育成・事業化は計画通り推進中</li> <li>ボイラ事業の構造改革はほぼ計画通り、機能強化・提案メニューの拡充など、サービス事業も伸長</li> </ul>

	重点施策	進捗状況	進捗
重点投資領域			
カーボンニュートラル・ 資源循環 (セグメント) (エネルギー環境SBU)	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーボンキャプチャー技術実証および評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>EUでのCO2分離回収試験完了、実機計画FEED対応中</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオマスガス化～SAF製造実証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガス化～SAF製造のNEDO実証事業へ参画、酒田地区カーボンリサイクル事業のNEDO調査事業へ応募</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>未利用バイオマスからの炭素固定化事業実証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種燃料でのバイオ炭製造の実証完了</li> </ul>	○
再エネ促進 (エネルギー環境SBU) (海洋・鉄構SBU)	<ul style="list-style-type: none"> <li>LAES実証設備の25年度中の商用運転開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>25年12月より実証運転開始（広島ガス株）との共同実施</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>洋上風力基礎構造物事業化に向け営業力強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1ラウンドは再公募へ、第2ラウンド受注に向け見積対応中</li> </ul>	△
基盤事業領域			
エネルギープラント (エネルギー環境SBU) プロセス機械/プラント (PP-SBU) サービス (セグメント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボイラ事業の構造改革実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>操業量に応じた更なる固定費対策を計画</li> </ul>	△
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボイラ燃料転換改造（TMU）の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TMU案件の受注に遅れ、専任組織体制を整備し対応強化</li> </ul>	△
	<ul style="list-style-type: none"> <li>化工機・水処理・食品機械事業の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受注拡大により売上計画過達</li> </ul>	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス事業拡大とセグメント内の連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業部門間の連携によりサービス売上拡大</li> </ul>	○

## 03

## セグメント 重点施策例



## インダストリアルマシナリーセグメント

半導体関連 (MS-SBU)

イオン注入装置とレーザアニール装置の  
統合・連携強化により事業拡大を図る



イオン注入装置



- 開発
- 販売
- 製造
- サービス



レーザアニール装置



## ロジスティックス &amp; コンストラクションセグメント

産業用クレーン (搬送システムSBU)

政府が策定した造船業再生ロードマップに基づき、  
造船分野向けクレーンの需要が拡大

## ● 主な対象機種



ジブクレーン



ゴライアスクレーン

## ■ レーザアニール装置の状況

- ・ 先端ロジック、DRAM (HBM) 、3D NANDの微細化・高積層化に向けた、  
レーザアニール工法を使った新しいアプリケーション開発が進行中
- ・ 複数の大手メーカーから引き合いを受けており、27年に25年比4倍の生産体制構築を計画
- ・ 半導体装置事業推進室を発足し、統合・連携課題を推進中

## ■ 造船向けクレーンの状況

- ・ 2025年末に「造船業再生ロードマップ」が公表され、2035年目標として建造能力倍増計画が示された
- ・ 当社は国内唯一の製造メーカーであり、造船各社の設備投資情報を収集し、  
旺盛な引き合いに対応するための生産能力増強を検討中

04

## Appendix

## 04

## セグメント別ROIC推移

	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 目標	対処すべき課題	今後の対応方針
メカトロニクス	4.5%	6.0%	7.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>電機制御事業（欧州）収益改善</li> <li>ギヤモータ機種の収益改善</li> <li>棚卸資産・固定資産の圧縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新商品開発完遂、販売／R&amp;Dシナジー効果拡大</li> <li>機種集約、不採算機種整理</li> <li>サプライチェーン見直し</li> </ul>
インダストリアル マシナリー	5.2%	2.7%	4.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスチック加工機械事業の収益改善</li> <li>生産効率向上</li> <li>半導体／メモリ、ロジックの新規分野展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要想定見直しによる工場体制・販売体制の再編</li> <li>設備投資抑制</li> <li>イオン注入装置とレーザアニール装置の連携強化</li> </ul>
ロジスティックス＆ コンストラクション	7.6%	4.7%	5.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>受注売上確保</li> <li>建機事業の収益改善</li> <li>在庫圧縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品／サービスの高付加価値化</li> <li>体制最適化と固定費コントロール</li> <li>在庫手持ち月数削減</li> </ul>
エネルギー＆ ライフライン	2.6%	6.4%	4.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボイラ事業の構造改革完遂</li> <li>受注確保と個別損益改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務規律管理の徹底</li> <li>サービス事業強化</li> </ul>
連結	4.8%	4.2%	4.8%		

## 04

## 戦略ビジネスユニット (SBU) 主要数値①

単位：億円	受注高			売上高			営業利益					
	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想			
ドライブテクノロジーズ	1,913	2,084	<b>2,240</b>	1,966	2,068	<b>2,220</b>						
アドバンストテクノロジーズ	524	679	<b>680</b>	652	683	<b>710</b>						
その他事業・控除・調整等	▲17	▲10	▲30	▲55	▲39	▲50						
<b>メカトロニクス</b>	<b>2,420</b>	<b>2,753</b>	<b>2,890</b>	<b>2,564</b>	<b>2,712</b>	<b>2,880</b>	117	4.6%	190	7.0%	<b>220</b>	7.7%
マテリアルソリューションズ	395	352	<b>450</b>	637	388	<b>500</b>						
メディカル& カンタムソリューションズ	146	253	<b>250</b>	234	242	<b>200</b>						
メタルプロセッシング ソリューションズ	297	345	<b>300</b>	250	264	<b>290</b>						
プラスチックスソリューションズ	899	1,013	<b>930</b>	928	1,024	<b>950</b>						
その他事業・控除・調整等	323	288	310	291	308	340						
<b>インダストリアルマシナリー</b>	<b>2,060</b>	<b>2,251</b>	<b>2,240</b>	<b>2,340</b>	<b>2,226</b>	<b>2,280</b>	123	5.2%	42	1.9%	<b>80</b>	3.5%

## 04

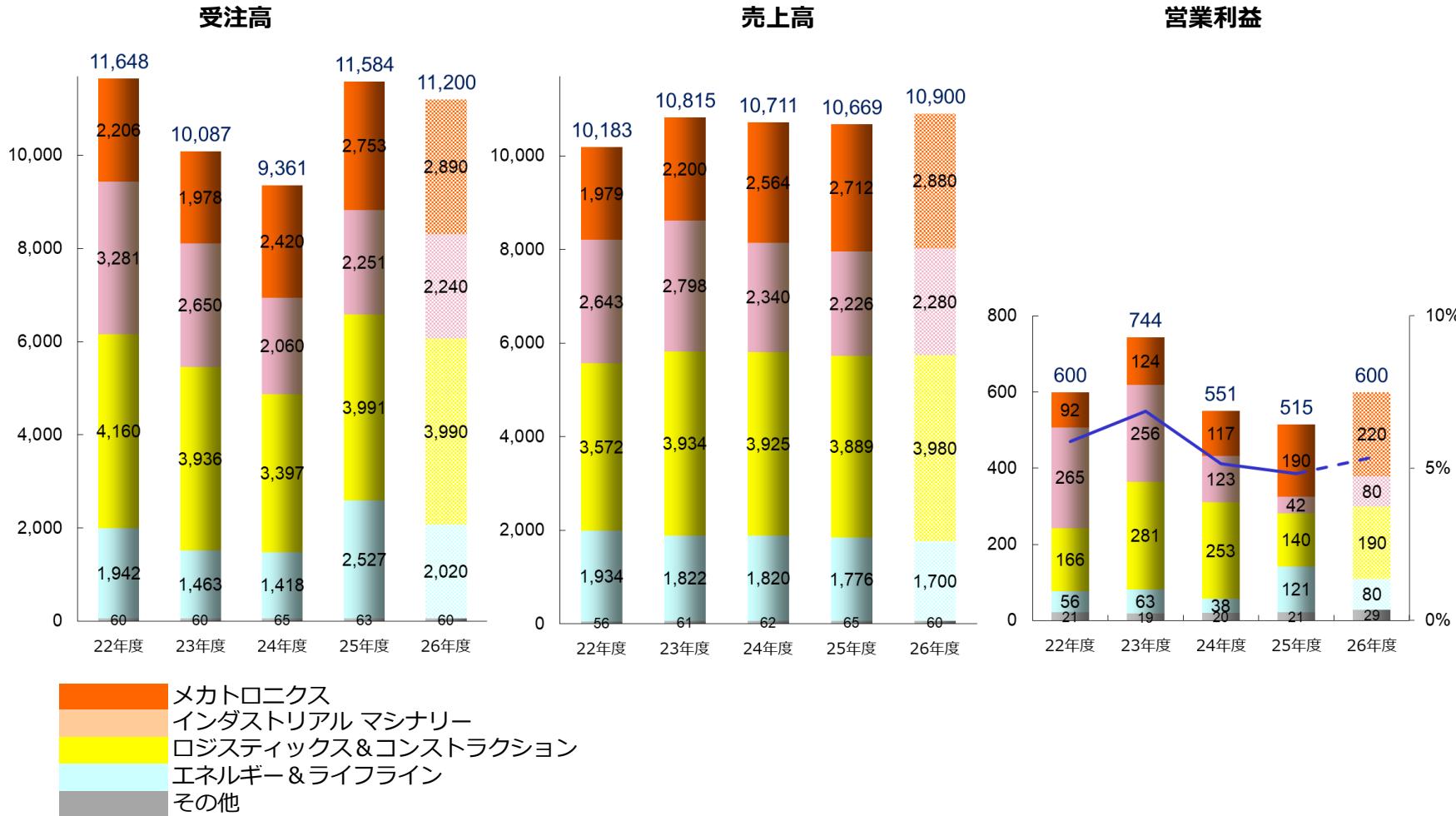
## 戦略ビジネスユニット (SBU) 主要数値②

単位：億円	受注高			売上高			営業利益					
	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度予 想	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想			
搬送システム	686	869	600	519	636	620						
HSCクレーン	392	391	330	443	411	370						
リンクベルトクレーン	771	877	1,000	838	879	970						
建機	1,672	1,991	2,160	2,272	2,124	2,150						
その他事業・控除・調整等	△124	△137	△100	△146	△161	△130						
ロジスティックス&コンストラクション	3,397	3,991	3,990	3,925	3,889	3,980	253	6.4%	140	3.6%	190	4.7%
エネルギー環境	543	1,276	830	796	711	700						
プロセスプラント	506	637	720	464	536	570						
海洋・鉄構	213	450	400	413	376	340						
その他事業・控除・調整等	155	164	70	147	153	90						
エネルギー&ライフライン	1,418	2,527	2,020	1,820	1,776	1,700	38	2.1%	121	6.8%	80	4.7%
その他	65	63	60	62	65	60	20	-	21	-	30	-
合計	9,361	11,584	11,200	10,711	10,669	10,900	551	5.1%	515	4.8%	600	5.5%

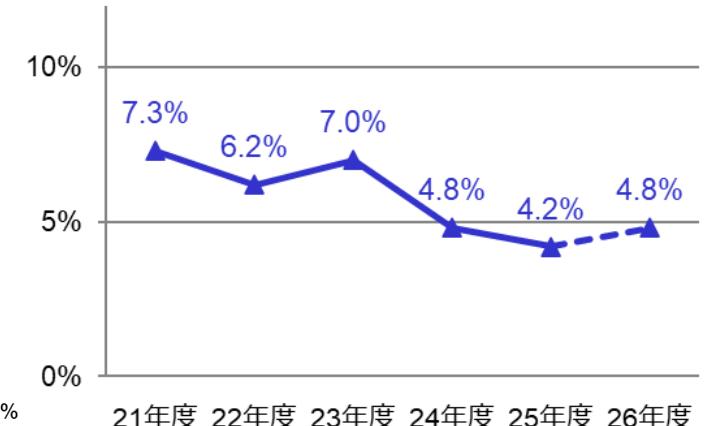
## 04

## 財務数値推移(連結)

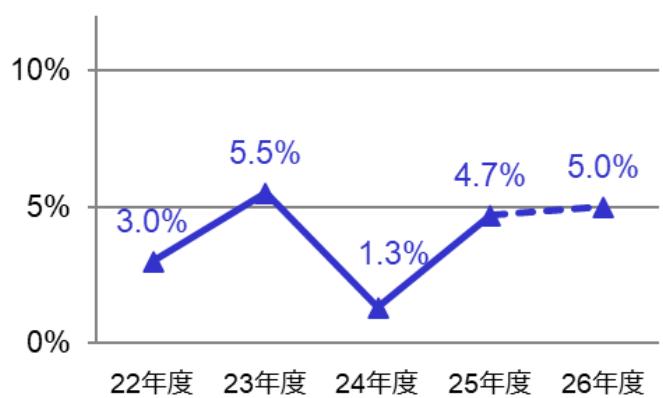
## ■ 受注／売上／営業利益 推移 単位：億円



## ■ ROIC 推移



## (参考) ROE 推移



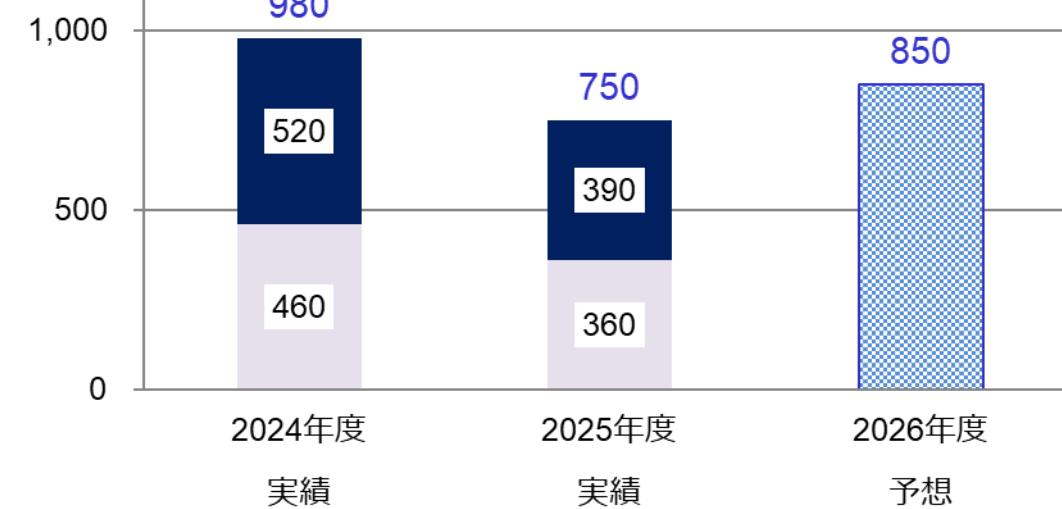
## 04

## 半導体関連事業売上

## 半導体関連事業 売上高合計（概数）

単位：億円

3-4Q  
1-2Q  
通期



## 当社が保有する半導体分野向けコンポーネント、装置とキーテクノロジー

	製品	セグメント	SBU	キーテクノロジー		
				ビーム制御	極低温	真空
コンポーネント	4KGM冷凍機 / クライオポンプ	メカトロニクス	アドバンストテクノロジーズ		◎	◎
	真空ロボット					◎
装置	レーザアニール装置	インダストリアルマシナリー	マテリアルソリューションズ	◎		
	イオン注入装置			◎		○
	イオン照射事業			◎		○
	MCZ用超電導マグネット				◎	○

キーテクノロジーとの関係性（◎：大 ○：中）

## 04

## 各セグメント参考情報①

## &lt;メカトロニクス&gt;

## ・変減速機事業 機種別売上構成（概数）

	ギヤモータ (中型)	ギヤボックス (大型)	精密用途 (MCD)	サービス	電機制御	合計
2025年度	40%	20%	10%	10%	20%	100%
2024年度	40%	20%	10%	10%	20%	100%

## &lt;インダストリアルマシナリー&gt;

## ・射出成形機 売上業種別構成（概数）

	電気・電子 関連	自動車	医療・食品 容器・雑貨	その他	合計
2025年度	20%	15%	50%	15%	100%
2024年度	15%	20%	50%	15%	100%

## 04

## 各セグメント参考情報②

## &lt;ロジスティックス&amp;コンストラクション&gt;

## ・油圧ショベル 地域別需要推移（概数）

単位：万台		北米	欧州	アジア (除く中国)	中国 *	日本
2026年度	需要(予想)	3.5	3.3	2.7	1.5	2.0
2025年度	需要	4.0	3.2	3.0	1.3	1.9
2024年度	需要	3.9	2.9	2.7	1.1	2.3

## ・産業用クレーン 業種別受注構成（概数）

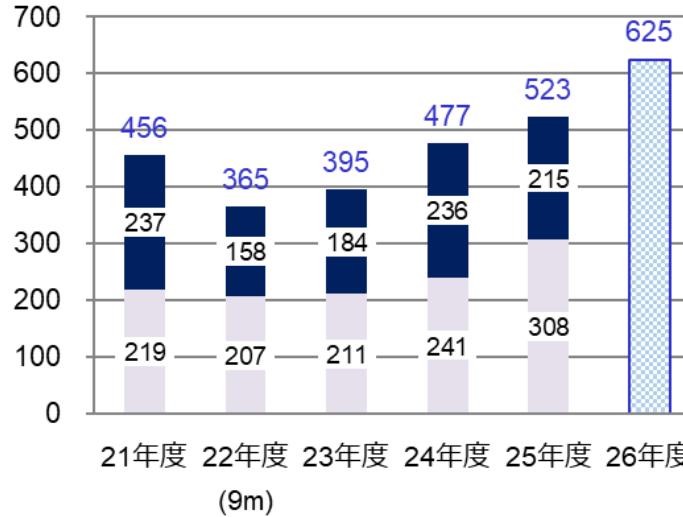
	電力	鉄鋼	造船	港湾	その他	合計
2025年度	0%	20%	50%	10%	20%	100%
2024年度	25%	35%	35%	0%	5%	100%

## 04

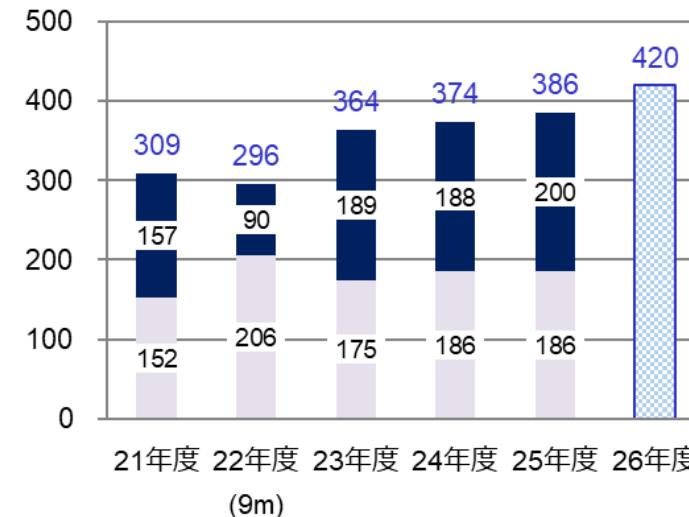
## 設備投資・減価償却費・研究開発費・人員・為替感応度

## 設備投資\*

\*実績はキャッシュアウトベース、  
予想は決定ベース

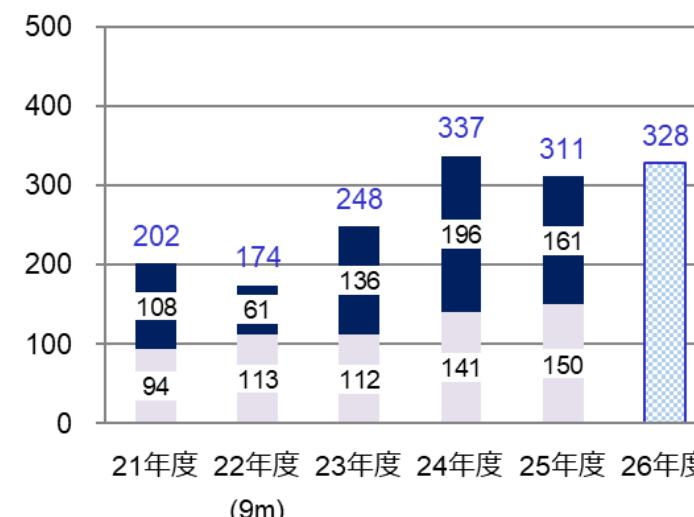


## 減価償却費



## 研究開発費\*

\*実績はPLベース、  
予想は決定ベース



## 人員 (各年度終了時点)

全社計	単位：人	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		25,211	25,303	25,337	25,123

## 為替感応度 (2026年度予想)

1円の変動による営業利益への影響額*	単位：億円	ドル	ユーロ	合計
		4.4	1.2	5.6

\*2026年度想定レートは¥145 (ドル) 、¥170 (ユーロ)

## 04

## 地域別売上高

<為替レート(ドル)¥150>	単位: 億円	2025年度 実績									
		北米	ヨーロッパ	アジア(除く中国)	中国	その他	海外	計	日本	総売上高	
メカトロニクス	597	581	343	290	198	2,010	702	2,712			
インダストリアル マシナリー	190	282	335	444	59	1,310	916	2,226			
ロジスティックス&コンストラクション	1,412	151	502	70	130	2,263	1,626	3,889			
エネルギー&ライフライン	134	321	231	19	86	791	986	1,776			
その他	-	-	-	1	-	1	65	65			
合計 / 売上高比率(%)	2,333	22	1,336	13	1,411	13	823	8	4,294	40	10,669

<為替レート(ドル)¥152>	単位: 億円	2024年度 実績									
		北米	ヨーロッパ	アジア(除く中国)	中国	その他	海外	計	日本	総売上高	
メカトロニクス	438	422	207	144	175	1,386	675	2,061			
インダストリアル マシナリー	299	378	410	684	79	1,850	993	2,843			
ロジスティックス&コンストラクション	1,457	150	498	55	149	2,309	1,616	3,925			
エネルギー&ライフライン	139	355	184	15	140	832	988	1,820			
その他	-	-	-	0	-	0	62	62			
合計 / 売上高比率(%)	2,332	22	1,305	12	1,299	12	898	8	4,334	40	10,711

 住友重機械工業株式会社

将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。  
したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。